

葦

第32号

平成13年 3 月発行

奈良県立医科大学付属病院
看護部教育委員会

目 次

第1部 教育講演抄録

1. 痛みの管理について 奈良県立医科大学附属病院麻酔科 中 橋 一 喜 - 9 -
2. 看護診断 聖路加看護大学大学院 藤 崎 郁 - 11 -
3. 看護過誤 大阪大学医学部公衆衛生学 中 鳥 和 江 - 15 -
4. 年頭にあって 奈良県立医科大学附属病院看護部長 寺 川 佐知子 - 16 -
5. 看護一言大会 私の考える看護
奈良県立医科大学看護短期大学部教授 江 上 芳 子 - 18 -
6. 医療サービスの視点から考えた院内感染への取り組み
奈良県立医科大学附属病院救命救急センター看護師
感染管理認定看護師 折 尾 純 子 - 46 -

第2部 看護研究発表集録

1. ウォーターマットによる褥瘡予防効果及び使用経験
— 褥瘡形成した患者9例のケアを振り返って —
B棟8階 増 谷 尚 代 - 51 -
2. 小児の採尿についての検討
— 採尿パック貼用法の工夫を試みて — A棟4階南 桑 迫 由 美 - 55 -
3. 放射線療法に伴う皮膚障害予防の用具の工夫
— 生理用ナプキンを用いた冷却法を検討して —
A棟5階南 北 村 里 奈 - 64 -
4. 内シャント造設後のシーネ固定に関する一考察
— 角度をつけたシーネを装着した看護婦12名へのアンケート結果より —
A棟6階南 岩 本 有 里 - 68 -
5. 洗浄水の比較による陰部清潔保持のための細菌数の変化
— 水道水と強酸性水を比較して — 救命救急センター 野 口 幸 - 72 -
6. SSI（手術部位感染）サーベイランスの試み 中央手術部 岡 田 康 宏 - 76 -
7. 万能つぼの使用状況に関するアンケート調査 中央材料室 南 口 淳 子 - 83 -
8. 当院産科病棟における羊水混濁の色判定の現状
A棟5階北 木 村 一 美 - 88 -

9. 集中治療部入室患者の入眠への一援助

—患者6名に足ツボマッサージを実施した結果より—

A棟4階北東 大中 まり子 -92-

10. 心臓カテーテル検査オリエンテーションにビデオの併用を試みて

南1階 山田 彩 -96-

11. 頸椎術後患者における肩こりの緩和を試みて

—有酸素運動を取り入れたストレッチの効果—

B棟5階 千葉 真純 -102-

12. ポビドンヨード含嗽と温度の関係

—不快感に対するアンケート調査及び口腔内の温度別

CFU測定を実施して— 南3階 竹下 咲子 -110-

13. 親子関係確立への一援助

—カンガルーケアのマニュアル作成と実施を試みて—

A棟4階北西 越智 加苗 -115-

14. 反抗挑戦性障害を発症した患児と信頼関係を築くための看護展開の一考察

—トラベルビー理論に基づいて—

D病棟 鎌塚 洋子 -120-

15. 手術待機中の家族に対する援助についての検討

—患者の家族10名に対し待機中の思いと過ごし方について

の面接調査を行なって— A棟6階北 堀内 美和 -126-

16. 癌告知を受けて手術に臨んだ患者の術前のストレス因子と対処方法の継続的变化

—B棟6階で手術を受けた壮年期の患者5名にアンケートを実施して—

B棟6階 浅野 真弓 -130-

17. クリティカルパス作成のためのクリティカルパス

—全大腸内視鏡検査を通して—

中央内視鏡部 塚本 美保 -135-

18. クリティカルパスの有効性についての検討

—甲状腺腫瘍手術クリティカルパス使用の患者8名

スタッフ9名のアンケート調査を実施して—

A棟7階南 加畑 純子 -144-

19. 肝細胞癌患者のアセスメントツールの改善を試みて

—患者10名への使用と放射線病棟看護婦15名のアンケート結果より—

放射線病棟 田淵 かおる -150-

20. キャップスタンドを効果的に使用した針刺し事故防止への一対策 ——当病棟の看護婦23名にアンケート調査を行って——	B棟7階	米田 真由美	-158-
21. 老人に補助具を用いて術前指導を行う際の看護婦の意識調査 ——看護婦14名に老人模擬体験を実施して——	B棟4階	富永 恵里	-163-
22. 視覚障害の擬似的体験に基づく食事援助についての検討	A棟7階北	大七 幸子	-168-

第3部 その他

1. 平成12年度看護部教育委員の役割分担及び委員会開催日時	-173-
2. 平成12年度看護部教育計画	-174-
3. 平成12年度看護部教育委員会活動報告	-175-
4. 平成12年度看護部教育講習会アンケート集計	-176-
5. 平成12年度各所属教育講習会年間平均出席率	-182-
6. 平成12年度看護部教育費決算報告	-183-
7. 平成12年度看護部院内教育実施状況	-185-
8. 平成12年度看護研究発表状況（院外）	-187-
9. 平成12年度投稿論文	-188-
10. 平成12年度院外研修会・講習会受講者数	-189-
11. 平成12年度各種学会・研究会参加者数	-190-
12. 奈良県立医科大学附属病院看護部教育委員会推薦委員に関する内規	-191-
13. 奈良県立医科大学附属病院看護部教育費に関する内規	-192-
14. 奈良県立医科大学附属病院看護部教育委員会内規	-194-
15. 投稿規定	-196-

平成12年度

看護研究発表集録

15. 投 稿 規 定

1. 本紙に投稿する者は、看護部に属していなければなりません。ただし、看護部教育委員会において、特に許可した者はこの限りではありません。
2. 内容に関しては、次の2種類に限定致します。
 - ① 看護に関する研究的内容のもの。
 - ② 看護婦としての職業に特に関連深い随筆的内容のもの。
3. 投稿者は必ず次の諸条件を守って下さい。
 - ① 提出原稿は、掲載論文としB 5 版400字詰横書原稿用紙を使用すること。
 - ② 紙数の制限は、2 の①については15枚（図表合わせて15枚以内）、2 の②については2枚以内。
 - ③ 題名、所属、氏名は本文とは別の用紙を使用し、一番上にもってくること。これは制限枚数にははまらない。
 - ④ 提出原稿は、共同研究者名を連記するが、発表者を一番先に明記し○印をつける。
 - ⑤ 原稿用紙の使用法を正しく守ること。
 - ⑥ 文献を正しく明記すること。

編 集 後 記

「葦」 32号の発刊にあたり寄稿していただいた方々に厚くお礼を申し上げます。

未熟な私達の「葦」の編集になりましたがご意見などがございましたらどうぞお申し出下さいませ。今後「葦」がますます根強く成長するようお祈りいたします。

平成13年 3 月

教育委員

西 浦 眞千代

太 田 久 子

石 川 し の ぶ

平成12年度

葦

編 集 奈良県立医科大学附属病院
看護部教育委員会
発 行 奈良県立医科大学附属病院
住 所 〒634-0813 奈良県橿原市四条町840番地
TEL. 0744-22-3051
印 刷 辻本印刷所
